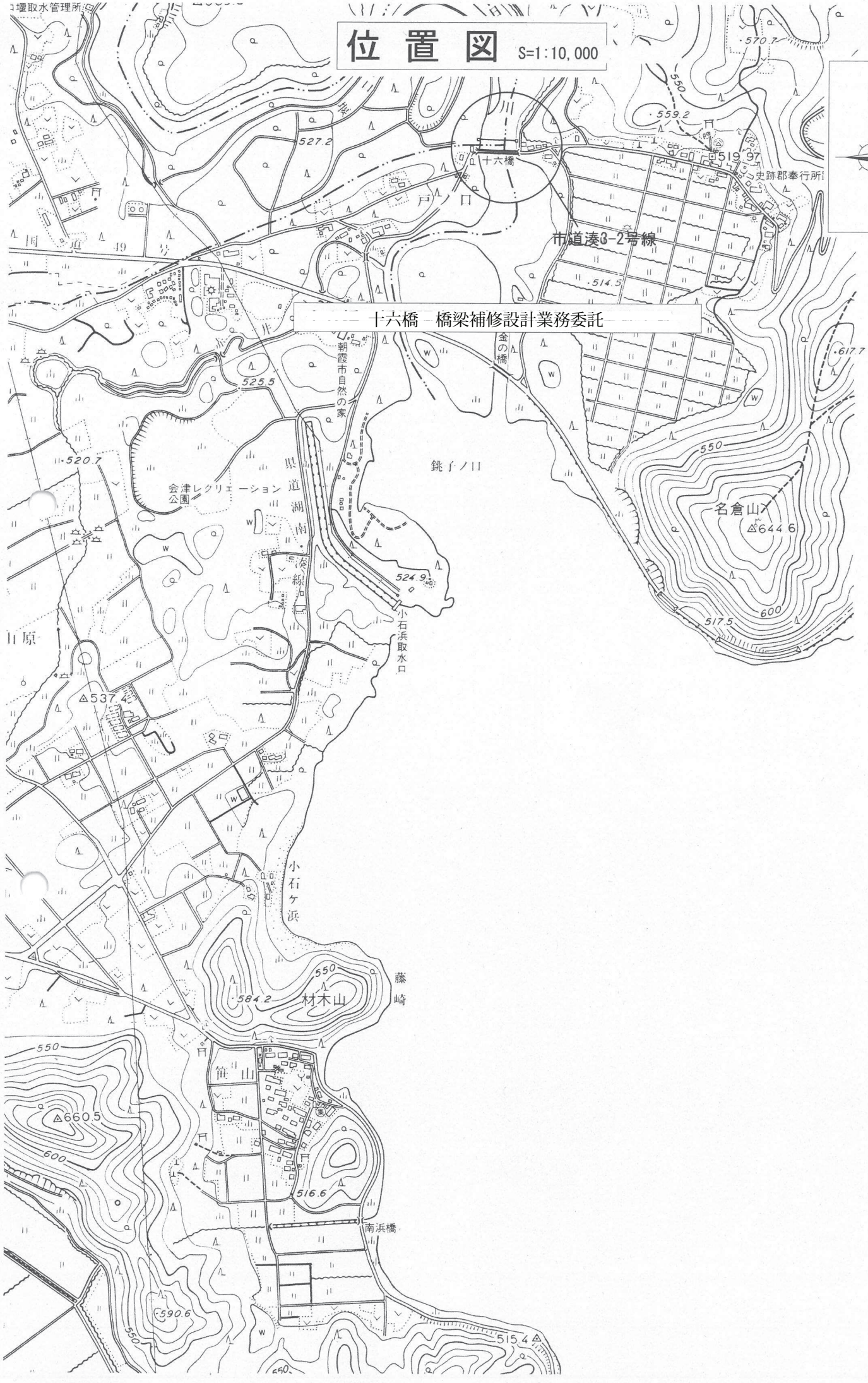
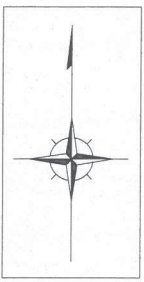


堰取水管理所

位置図

S=1:10,000



設計書			
業務年度	令和7年度	業務番号	第 582 号
業務名	十六橋橋梁補修設計 業務委託		
路線名	市道湊3－2号線 【十六橋】		
業務箇所	会津若松市 湊町大字赤井 地内		
業種	設計		
委託日数	当初設計	197日	

業務概要	当初設計	
橋梁補修設計	N=1橋	

仕様	特記仕様書によること。
摘要	<ul style="list-style-type: none"> ・会津若松市元請・下請関係適正化指導要綱を遵守すること。 ・会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。 ・業務用資材等の購入・調達にあたっては、地産地消の推進に努めること。 ・請負金額100万以上の場合はTECRIS(テクリス)に登録すること。 ・その他については、監督員と協議すること。
設計年月	令和7年4月

橋梁補修設計 業務委託 特記仕様書

第1章 総則

第1条 適用

本特記仕様書は、橋梁補修詳細設計業務に適用する。

本特記仕様書に明示なき一般事項は「福島県土木部共通仕様書(業務委託編)」に基づく。

第2条 目的

本業務は、橋梁の修繕にあたり、補修方法や劣化原因の除去の検討、対策工事に必要な補修設計することを目的とする。更には、詳細調査で確認した既存橋梁の劣化状況や原因から、橋梁補修設計を行うものである。

第3条 履行期間

本業務の履行期間は、契約書のとおりとする。

第4条 履行場所

本業務の履行場所は、会津若松市内 とする。

第5条 使用図書及び準拠する法令等

本業務で使用する図書は、共通仕様書のほか、以下に基づき行うものとする。

- (1) 福島県橋梁調査点検マニュアル(案)(平成25年3月(平成30年1月改定)福島県土木部)
- (2) 「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラムにおける耐震補強マニュアル案)」
(平成17年6月)
- (3) 「道路橋示方書」(令和2年11月)
- (4) その他関係法令及び通達等

第6条 貸与資料

本業務の貸与資料は以下のものとする。

- (1) 橋梁定期点検調査業務委託報告書
- (2) 橋梁台帳
- (3) その他業務履行上必要な発注者の所有する資料

第7条 打合せ等

業務に関する打合せ記録の整理は受注者が行うものとし、打合せ後速やかに提出する。

なお、打合せ回数は、関係機関との協議を含めて4回を予定するものとし、業務着手時及び完了時には管理技術者が出席する。

第8条 緊急対応の判断

調査する橋梁に第三者等へ被害の恐れが懸念される状態、構造上安全性が著しく損なわれている状態等が確認された際は、速やかに監督員に報告し、対応を協議する。

第9条 安全管理

交通状況に即した適切な保安施設を設けるなどして安全管理に努めるものとする。緊急連絡体制を事前に構築し、その体制に基づいて事故発生時等は迅速に必要な対応を行うものとする。

第10条 照査

照査技術者は、下記に示す事項を標準として業務の主要な段階において照査を行い、管理技術者に提出する。

- (1) 設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に、既設橋梁に関する条件については、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。
- (2) 一般図を基に、既設部と補修部の整合が適切に取られているかの照査を行う。また、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が設計計画に反映されているかの確認を行う。
- (3) 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。また、施工方法の確認を行い、施工時の既設部材の応力についても照査を行う。
- (4) 設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。
また、構造細目についても照査を行い、基準との整合性の確認を行う。特に、既設橋梁及び補修部材それぞれの取り合いについて整合性の照査を行う。

第2章 業務内容

業務対象とする業務内容は以下に示すものとする。なお、本業務は、橋梁の詳細調査及び補修補工事の詳細設計を対象とする。

第1条 橋梁詳細調査

既存橋梁の損傷ならびに劣化程度や原因を把握するため、下記の調査及び試験を行う。なお、調査及び試験の箇所は、事前に監督員と協議するものとする。

1 調査(設計)計画

業務の目的や内容、既存点検資料、現地踏査結果等をもとに、損傷・劣化原因を把握するために必要な試験等を実施するための調査(設計)計画書を作成する。

2 現地踏査

調査計画書を作成するために現地を踏査するもので、詳細調査時に必要となる資機材の確認や運搬経路、交通量、想定される交通規制(交通整理員の配置人数等)、橋梁の劣化程度、その他調査を実施するために必要な現場の概況を確認する。

第2条 橋梁補修設計

橋梁詳細調査で確認した既存橋梁の劣化状況や原因から、補修方法や劣化原因の除去の検討、対策工事に必要な詳細設計を行う。

1 設計計画

橋梁詳細調査の結果並びに、既存資料を収集・整理したうえで、業務の作業計画を立て、業務計画書を作成する。

2 コンクリート補修設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。対象とする補修工法は、ひび割れ補修工、断面修復工、表面保護工（表面被覆工法、表面含浸工法、剥落防止工法）又はこれに類する補修とする。また、耐力を回復させるために実施する補強計算は含まない。また、既存資料がない場合で配筋状況が把握できない場合は、復元設計により現況を把握することとする。

3 橋面防水設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

防水工法選定（シート、塗布）の検討、橋面排水設計、舗装設計を行うものとする。

4 鋼部材塗替塗装設計

既存資料をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

劣化した防食機能を回復させるものであり、塗装仕様や範囲の検討を行うものである。

5 支承防錆設計

既存資料をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

最適な防食手法（塗装、溶射等）を選定し、詳細な仕様の検討を行うものである。支承取替を行うものは含まない。

6 鋼部材補修

鋼材が著しく腐食した部分の対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。（当て板補強工法、溶接補修工法、ストップホール工法、ボルト交換工法等）を対象とし、部材の取替えは含まない。補修後の断面照査は含む。

7 施工計画

施工計画として工程計画、施工要領、施工計画図（数量計算を含む）を作成する。応力計算が伴う仮橋、締切工などは含まない。

8 概算工事費の算出

各種詳細設計により得られた概算工事費(単価)及び数量をもとに仮設費を含めた橋梁全体の概算工事費を算出する。

9 報告書作成

設計業務の成果として、設計業務成果概要書・設計計算書等・設計図面・数量計算書・概算工事費・施工計画書・現地踏査結果等について作成する。なお、設計条件・工法決定の経緯及び選定理由(構造特性、施工性、経済性、維持管理、環境の要件の解説)・耐震補強工の解析手法、構造各部の検討内容及び問題点、特に考慮した事項・主要断面寸法等設計計算の主要結果・主要材料、工事数量の総括・施工段階での注意事項、検討事項について解説し取りまとめて記載した設計概要書の作成を行う。

第3章 成果品

第1条 成果品の提出

本業務の成果品は以下のものとする。

- (1) 概要版(A3) : 電子媒体正副2部及び簡易製本版2部
- (2) 各種調査(試験)結果 : 電子媒体正副2部及び簡易製本版2部
- (3) 調査写真 : 電子媒体正副2部及び簡易製本版2部
- (4) 設計図 : 電子媒体正副2部及び簡易製本版2部
- (5) 数量計算 : 電子媒体正副2部及び簡易製本版2部
- (6) 報告書 : 電子媒体正副2部及び簡易製本版2部
- (7) その他監督員の指示するもの。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	C2 会津若松市 実施設計書 当初 00000000000 0 1 実施単価 51 L (会津若松 1) 地区 00-07.04.01(0) 4 業務委託 00000000000当初十六橋 (R7)		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 測量調査発注区分 冬期割増 設計発注区分 旅費交通費区分	30 00 建設コンサルタント 00 冬期割増なし 00 建設コンサルタント 09 積上げ		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 特殊勤務費[円]		

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計業務						X6000
十六橋						Y1999
橋梁補修設計（十六橋）						Y2999
		1.0	式			工種 第0001号表
電子成果物作成費(D)						Z0014
			式			
電子成果物作成費（その他の設計業務） 直接人件費入力（中間技術審査を除く）						SC905 00
		1.0	式			施工 第0 -0010号表
直接経費計						
直接原価						
その他原価						
			式			
業務原価						
一般管理費等						
			式			
業務価格						
業務委託料（まるめ）						

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
業務価格計						
消費税等相当額計						
			式			
委託費計						

工 種 明 細 表

頁0-0004

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁補修設計（十六橋） Y2999					工種 第0001号表
設計計画	1.0	橋			V1010 00 070401 施工 第0 -0001号表
コンクリート補修設計・下部工	2.0	基			V2010 00 070401 施工 第0 -0002号表
橋面防水設計	18.0	径間			V2012 00 070401 施工 第0 -0003号表
支承防錆設計	18.0	支承線			V2014 00 070401 施工 第0 -0004号表
鋼部材塗替塗装設計	18.0	径間			V2013 00 070401 施工 第0 -0005号表
鋼部材補修設計	1.0	箇所			V3001 00 070401 施工 第0 -0006号表
施工計画	1.0	橋			V1012 00 070401 施工 第0 -0007号表
概算工事費の算出	1.0	橋			V1013 00 070401 施工 第0 -0008号表
打合せ（県内業者）（設計業務） 打合せ回数4回(中間技術審査を除く) 標準歩掛 A（業務難易度が標準的な場合）	1.0	式			SC050 00 070401 施工 第0 -0009号表
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0005

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計計画 V1010	1	橋			施工 第0 -0001号表 特単単価適用日：07年04月01日
主任技師 (内業) [5 5 %]	0.5	人			R5430
技師 (A) (内業) [5 5 %]	1.0	人			R5440
技師 (B) (内業) [5 5 %]	1.5	人			R5450
*** 単位当たり ***	1	橋			
*****					*****
コンクリート補修設計・下部工 V2010	1	基			施工 第0 -0002号表 特単単価適用日：07年04月01日
技師 (B) (内業) [5 5 %]	0.5	人			R5450
技師 (C) (内業) [5 5 %]	1.0	人			R5460
技術員 (内業) [5 5 %]	1.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	基			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0006

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面防水設計 V2012	18	径間			施工 第0 -0003号表 特単単価適用日：07年04月01日
技師（C）（内業） [5 5 %]	6.5	人			R5460
技術員（内業） [5 5 %]	12.9	人			R5470
*** 合 計 ***	18	径間			
*** 単位当たり ***	1	径間			

支承防錆設計 V2014	1	支承線			施工 第0 -0004号表 特単単価適用日：07年04月01日
技師（B）（内業） [5 5 %]	0.5	人			R5450
技師（C）（内業） [5 5 %]	1.5	人			R5460
*** 単位当たり ***	1	支承線			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0007

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼部材塗替塗装設計 V2013	18	径間			施工 第0 -0005号表 特単単価適用日：07年04月01日
技師（ A ） （内業） [5 5 %]	12.9	人			R5440
技師（ B ） （内業） [5 5 %]	12.9	人			R5450
技師（ C ） （内業） [5 5 %]	25.8	人			R5460
技術員 （内業） [5 5 %]	25.8	人			R5470
*** 合 計 ***	18	径間			
*** 単位当たり ***	1	径間			

鋼部材補修設計 V3001	1	箇所			施工 第0 -0006号表 特単単価適用日：07年04月01日
技師（ A ） （内業） [5 5 %]	0.5	人			R5440
技師（ B ） （内業） [5 5 %]	1.5	人			R5450
技師（ C ） （内業） [5 5 %]	1.0	人			R5460
*** 単位当たり ***	1	箇所			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0008

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工計画 V1012	1	橋			施工 第0 -0007号表 特単単価適用日：07年04月01日
技師（Ａ）（内業） 〔 ５ ５ ％ 〕	1.0	人			R5440
技師（Ｂ）（内業） 〔 ５ ５ ％ 〕	2.0	人			R5450
技師（Ｃ）（内業） 〔 ５ ５ ％ 〕	2.0	人			R5460
*** 単位当たり ***	1	橋			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
概算工事費の算出 V1013	1	橋			施工 第0 -0008号表 特単単価適用日：07年04月01日
技師（Ａ）（内業） 〔 ５ ５ ％ 〕	1.0	人			R5440
技師（Ｂ）（内業） 〔 ５ ５ ％ 〕	2.0	人			R5450
技師（Ｃ）（内業） 〔 ５ ５ ％ 〕	2.0	人			R5460
*** 単位当たり ***	1	橋			

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0009

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打合せ（県内業者）（設計業務） SC050 打合せ回数4回(中間技術審査を除く) 標準歩掛 A（業務難易度が標準的な場合）	1	式			施工 第0 -0009号表
往復交通費	4.000	日			TI850
基準日額（主任技師） 直接人件費 [5 5 %]	2.000	日			R5430
基準日額（技師 A ） [5 5 %]	2.000	日			R5440
基準日額（技師 B ） [5 5 %]	2.000	日			R5450
*** 単位当たり ***	1	式			
A=1 標準歩掛 A（業務難易度が標準的な場合） B=4 打合せ回数(2 以上、中間技術審査を除く) C=1 設計業務等標準積算基準 3 - 2 - 1					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
電子成果物作成費（その他の設計業務） SC905 直接人件費入力（中間技術審査を除く）	1	式			施工 第0 -0010号表
電子成果品作成費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A= 設計業務等標準積算基準 3 - 1 - 4 B=1					

00000000000

会 津 若 松 市

金抜き

数量総括表					
十六橋 橋梁補修設計 業務委託					
業種	条件	条件	単位	数量	備考
橋梁補修設計（十六橋）					
設計計画			橋	1.0	
コンクリート補修設計・下部工			基	2.0	
橋面防水設計			径間	18.0	
支承防錆設計			支承線	18.0	
鋼部材塗替塗装設計			基	1.0	
鋼部材補修設計			箇所	1.0	
施工計画			橋	1.0	
概算工事費の算出			橋	1.0	
打合せ			回	4.0	
電子成果物作成			式	1.0	